

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニチリョク

コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺村 久義

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員

(氏名) 矢田 欣也

TEL 03-3396-3052

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	704	△22.6	△51	—	△66	—	△46	—
26年3月期第1四半期	909	26.5	85	—	57	—	19	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△3.69	—
26年3月期第1四半期	1.57	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
27年3月期第1四半期	10,745	—	3,665	—	34.1	—	293.28	—
26年3月期	11,102	—	3,800	—	34.2	—	304.09	—

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 3,665百万円 26年3月期 3,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	7.50	7.50

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,700	△6.8	100	△44.9	30	△73.0	10	△76.1	0.73
通期	3,600	△5.5	320	△26.1	180	△40.7	100	△27.2	7.28

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	13,741,014 株	26年3月期	13,741,014 株
27年3月期1Q	1,242,584 株	26年3月期	1,242,584 株
27年3月期1Q	12,498,430 株	26年3月期1Q	12,498,928 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記予想数値に関する事項につきましては、「添付資料」P.2「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、17年ぶりに施行された消費税率引き上げの影響を受け、国内景気及び消費動向は下押しされる結果となりました。一方で、設備投資においては先行きに僅かながら明るい兆しを見せております。

当社が属する供養産業は、死亡者が増加傾向にあるにもかかわらず、霊園事業におきましては、埋葬の選択肢が多様化するに伴い比較的高価格となる墓地墓石の購入者は年々減少傾向にあります。この流れに対応すべく当社は、供養の全てを網羅し価格においてもご満足いただける堂内陵墓事業へ比重の転換を図っております。

葬祭事業では、葬儀の小規模・地味化傾向が顕著となる中、インターネット媒体を中心とした業者間の価格競争は激しさを増し、顧客単価が一層下落するという厳しい環境下にあるものの、家族葬を中心としたラステル葬が顧客からの支持を受け、葬儀売上に貢献しております。

しかしながら、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動や前年同四半期における堂内陵墓「覚王山陵苑」の完売が影響し、当社の売上は前年同期に比べ減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高7億4百万円（前年同四半期比22.6%減）、営業損失5千1百万円（前年同四半期営業利益8千5百万円）、経常損失6千6百万円（前年同四半期経常利益5千7百万円）、四半期純損失4千6百万円（前年同四半期純利益1千9百万円）となりました。

### セグメントの状況

#### 1. 霊園事業

従来式の屋外墓地につきましては、比較的高価格となる墓地墓石の買い控え並びに小規模区画傾向が続く環境下、一つのお墓に多数のお骨を収める共有墓や樹林墓の募集等を進めましたが、消費税率引き上げの影響を受け、売上高は2億1千3百万円（前年同四半期比14.9%減）となりました。

#### 2. 堂内陵墓事業

第五号「両国陵苑（東京都墨田区）」は、顧客の価値観を超える重厚な施設と立地が好感を呼んでおり、計画通り順調な販売実績を上げております。しかしながら、前年同四半期における覚王山陵苑完売の影響を受け、売上高は1億4千5百万円（前年同四半期比55.9%減）となりました。

#### 3. 葬祭事業

葬儀の小規模傾向が一層顕著となり、施行単価は下落しております。当社は、生花祭壇葬「愛彩花（あいさいか）」と共に、家族葬・直葬施設を併設した独自のブランド、ご遺体安置施設「ラステル（ラストホテル）」を運営しております。これは、「小規模でありながらも心のこもった葬儀」を望む現代の顧客ニーズに合致しており、施行件数は順調に推移しております。売上高は3億4千4百万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、107億4千5百万円となり、前事業年度末に比べ3億5千6百万円減少いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ、6億6百万円減少し、36億3千9百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金5億8千1百万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ、2億4千9百万円増加し、71億6百万円となりました。その主な要因は、霊園開発協力金2億9千5百万円の増加によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ、3千6百万円減少し、33億6千1百万円となりました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金2千4百万円の増加、未払法人税等6千8百万円の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ、1億8千5百万円減少し、37億1千8百万円となりました。その主な要因は、社債1億4千9百万円及び長期借入金3千2百万円の減少によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ、1億3千5百万円減少し、36億6千5百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金1億3千9百万円の減少によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点、平成26年5月9日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,138,355	2,556,759
完成工事未収入金	100,188	21,020
売掛金	166,921	141,639
永代使用权	371,520	356,451
未成工事支出金	300,702	308,905
原材料及び貯蔵品	81,713	104,866
その他	85,825	149,446
貸倒引当金	△17	△32
流動資産合計	4,245,210	3,639,056
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,093,703	1,075,389
土地	1,535,523	1,535,523
その他(純額)	30,994	28,614
有形固定資産合計	2,660,221	2,639,528
無形固定資産	126,185	153,063
投資その他の資産		
長期貸付金	172,094	171,079
差入保証金	1,204,038	1,154,487
霊園開発協力金	1,233,950	1,529,162
その他	1,495,238	1,493,385
貸倒引当金	△34,816	△34,412
投資その他の資産合計	4,070,506	4,313,703
固定資産合計	6,856,913	7,106,295
資産合計	11,102,123	10,745,351
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	102,191	77,451
短期借入金	359,282	370,516
1年内返済予定の長期借入金	1,797,323	1,821,946
1年内償還予定の社債	487,000	504,800
未払法人税等	72,435	4,359
賞与引当金	37,600	13,700
その他	542,596	568,958
流動負債合計	3,398,429	3,361,731
固定負債		
社債	1,003,000	853,200
長期借入金	2,447,730	2,415,368
退職給付引当金	260,351	273,961
役員退職慰労引当金	174,835	160,286
その他	17,185	15,253
固定負債合計	3,903,102	3,718,070
負債合計	7,301,532	7,079,801

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,743,535	1,603,674
自己株式	△227,529	△227,529
株主資本合計	3,780,931	3,641,070
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	34,986	41,473
繰延ヘッジ損益	△15,325	△16,994
評価・換算差額等合計	19,660	24,478
純資産合計	3,800,591	3,665,549
負債純資産合計	11,102,123	10,745,351

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	909,843	704,025
売上原価	252,194	241,119
売上総利益	657,648	462,906
販売費及び一般管理費	572,435	514,184
営業利益又は営業損失(△)	85,213	△51,278
営業外収益		
受取利息	1,052	1,026
受取配当金	7,444	7,444
その他	4,625	8,683
営業外収益合計	13,122	17,154
営業外費用		
支払利息	27,840	29,476
社債発行費	11,291	656
その他	2,145	2,217
営業外費用合計	41,277	32,350
経常利益又は経常損失(△)	57,058	△66,473
特別損失		
固定資産除却損	15,612	—
特別損失合計	15,612	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	41,445	△66,473
法人税、住民税及び事業税	2,312	2,195
法人税等調整額	19,510	△22,547
法人税等合計	21,822	△20,351
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19,622	△46,122



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。